



八条山の山頂付近の見張り所跡からの眺望。湖北の平野が一望できる。

## 長浜市 八条山

（はちじょうやま）

北近江を一望する見張り所と「金太郎」伝説の里を散策する！

長浜市の東部 戦国武将・石田三成の出生地で知られる石田町のほど近く、八条町の小さな集落を懐に抱く標高227.8mの里山が広がります。山腹に貯水施設をもつこの山は、八条山公園として山頂をめぐる遊歩道が整備されていて、散策には1時間もかかりません。健康づくりに格好のウォーキングコースです。

山頂は高平とも呼ばれ、坂田郡史によれば1525年に浅井氏と京極氏・六角氏とのあいだで戦いが起こり、この山に六角方が陣を構え、軍事用の見張り所があったとも伝えられています。実際、この場所に立つてみると、眼下に湖北平野が一望でき、小谷山を中心に虎御前山、山本山、横山などの山々が見渡せます。

また、この山の麓には芦（あし）柄（がら）の名をもつ神社があります。その名からも想像できるように、このあたりは昔話に登場する金太郎の里としても知られ、芦柄神社の周辺を歩いていると、いたるところで「金太郎の里・西黒田」の看板を目にします。

今回は湖北のすばらしい眺望が満喫できる八条山と金太郎伝説の里を訪ねてみました。寒さが厳しく、積雪の多い冬季でも気軽に登ることが出来ます。

### ACCESS & MAP



- JR長浜駅からバス市内循環線（南回り）で八条まで約25分。※北回りの場合は約30分
- 帰りは本庄、または西黒田公民館からバス市内循環線（北回り）でJR長浜駅まで約30分。

▶観光に関するお問い合わせ  
 (社)長浜観光協会  
 ☎0749-62-4111 (代表)

※山行の際は、国土地理院発行の正確な地図（2万5千分1地形図など）をご使用ください。



冠雪の伊吹山を眺めながら 集落を抜けて 八条山公園へ

八条バス停で下車すると、町の入り口に圃場整備の記念碑と「金太郎のさと」にしろるだこは八条町」の立て札。遠くに雪をかぶった美しい伊吹山が見えます。ここから東へ進み、集落を抜けたら八条山公園の遊歩道の入り口です。



八条山公園案内図。



八条山の見張り所から 湖北平野の パノラマ 満喫

山頂から80mほど進むと尾根の北端。ここが中世の砦跡、見張り所でしょう。視界に湖北平野のパノラマが広がります。山々が見渡せます。ここからは鎖の手すりがついた急な下り。貯水タンクが見えてくると、そこは遊具などが整備された展望広場です。

## 金太郎の看板に遭遇 芦柄神社には土俵も…



本庄町の交差点で金太郎の絵の大きな看板が出現。東へしばらく行くと芦柄神社の参道が見えます。石段を登ると境内にちよつと小ぶりの土俵が…。金太郎伝説にちなみ、毎年9月に奉納相撲が行われているそうです。帰りは本庄か西黒田公民館のバス停へ。



芦柄神社の境内にある土俵。

山頂から80mほど進むと尾根の北端。ここが中世の砦跡、見張り所でしょう。視界に湖北平野のパノラマが広がります。山々が見渡せます。ここからは鎖の手すりがついた急な下り。貯水タンクが見えてくると、そこは遊具などが整備された展望広場です。

遊歩道の擬木階段を登ると最初の休憩所。ベンチが置かれ、長浜の市街地から琵琶湖が望めます。雑木林の尾根道をさらに進むと標高227.8mの山頂です。冬枯れの木立ちから東に雄大な伊吹山、西に竹生島と雪化粧した湖西の山々が望めます。



雪化粧した伊吹山が間近に…

## 山頂は展望ばつぐん！ 東に秀麗な伊吹山 西に竹生島が一望



常喜溜にその姿を映す八条山。

## 八条町の集落から 常喜溜を眺めながら 県道を南へ下ります

広場から管理道路を下り、麓の持専寺から集落を縫って南へ。水路に沿って進むと左手にうっそうとした杜の足柄神社。長浜市で最大の溜め池といわれる常喜溜（じょうぎだめ）が見えてくると県道に合流です。車に注意しながら歩きましょう。



山行日/09年1月7日  
 天候/晴れ  
 歩行距離/約3.2km  
 総時間/約2時間30分(休憩、散策含む)  
 難易度★(ビギナー向け)